

世界最高水準の大学づくりプログラム ―国公私「トップ30」―

1 趣 旨

- (1) 「大学（国立大学）の構造改革の方針」（平成13年6月）に基づき、活かに富み、国際競争力のある国公立大学づくりの一環として、大学に第三者評価による競争的原理を導入し、国公立を通じた世界最高水準の「トップ30」を育成するために、研究や高度な人材育成の面でポテンシャルの高い大学に思い切った重点投資。
- (2) これらを通じて、
- ①世界に誇れる教育研究組織の確立、
 - ②研究者特に若手研究者に世界最高水準の教育研究環境を提供、
 - ③国際社会に通用する人材育成機能の強化、
 - ④得られた知見を社会にフィードバック

2 対象機関等

国公立大学の大学院の専攻（博士課程）レベルを原則としつつ、研究所等にも配慮。

3 選定の仕組み

- (1) 学問分野別に各大学の申請を受け、教育研究活動実績についての客観的データや当該大学の将来構想等を基に評価。
- (2) 評価を行うため、文部科学省に有識者・専門家で構成される審査委員会を設置。
- (3) 選考の結果は固定化せず、評価に応じて変動しうる仕組み。

4 概算要求額（案）

予算額 422億円
（「構造改革特別要求」で要求。）